

# お試し 号外！ おおさか剣道かわら版(仮称)

剣道・居合道・杖道大好き！ みんなの情報誌 です！

発行責任者  
公益社団法人  
大阪府剣道連盟  
広報PJ

## 第68回全日本剣道選手権、第59回全日本女子剣道選手権 村上雷多選手 準優勝！おめでとうございます



3月14日(日)長野県長野市の真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリンク)を会場にして開催された「第68回全日本剣道選手権」並びに「第59回全日本女子剣道選手権」を大阪府代表選手の応援と4月29日(祝)エディオンアリーナ(大阪府立体育館)で開催予定の「第69回都道府県対抗剣道大会」の準備のための視察を兼ねて観戦してきました。



今回の大会は、例年であれば9月に開催される女子剣道選手権大会と11月に開催される男子の剣道選手権大会が、新型コロナウイルス感染症の拡大のためそれぞれ延期され、**全日本剣道連盟の新型コロナ感染予防対策の取り組みの成果を「総仕上げ的位置づけ」**で初めての全国規模の大会として、両大会を同時に開催する変則的な形で開催されました。

今回の大会では、三つの注目すべき事柄がありました。一つ目は、どのような感染対策を施して大会を実施するのか、二つ目は、新型コロナウイルス感染症対策として暫定的に変更された「剣道試合審判規則並びに細則」に基づいてどのような試合が行われるのか、三つ目は、今まで大会参加選手の多数を占めるとともに上位の成績を残していた警察官の参加が自粛で見送られ、実業団・教員・一般社会人・大学生を中心とした試合でどのような大会になるかです。

**一つ目の会場運営における感染対策**ですが、無観客での実施、選手席のディスタンスの確保、機器を使った体温の検温測定、関係者種別による座席・行動範囲のゾーン分け、試合場での試合者の待機席の逐次消毒など感染症対策が徹底されたものでした。大阪での都道府県対抗大会実施への参考になるものでした。

**二つ目の暫定的に変更された「剣道審判規則並びに細則」に基づく試合実施**ですが、それは、鏝迫り合いを選手双方が積極的に解消し間合いをしっかりと切り飛沫感染を防ごうとするもので、解消中に行われた打突は有効打としないなどです。鏝迫り合いについては審判と選手を前日に集めて開催された講習会の成果で、選手たちは潔く鏝迫り合いを解消することを心がけていました。しかしベスト8をかけたそれ以降の試合では慎重になるためか、解消まで時間が少しかかっているものも見受けられました。

さらに**延長戦の実施形態にも工夫**がされていました。マスクとシールドを着用しての試合のため、5分の試合後の延長戦は3分毎に区切られ、これを3回続ければ5分間の休憩時間を与えるもので、実際個人戦のため多くみられました。さらに水分補給のため試合場傍に選手の飲料水置き場が設けられていました。

**三つ目の警察官の選手たちが今回は出場をしない形**であったため、強豪と呼ばれる有名な選手たちの試合が見られなかったのは寂しいところでしたが、実業団・教員・社会人・刑務・大学生の選手たちの中でも、教員・大学生の活躍が多くみられ、今までとは趣が異なる試合が多くありました。



前日の審判・監督・選手研修

## 大阪府代表選手の試合

### 「重戦車」村上雷多選手 惜しくも準優勝

大阪府の代表選手の活躍は、やはり、男子で惜しくも優勝を逃しはしましたが村上雷多選手の活躍が光りました。

村上選手は私の知人に言わせると「『戦車』みたいな威圧感がある剣道をする」と表現していますが、私から見たらその威圧感「重戦車」の感じがしました。充実した氣勢、相手の剣先を制する村上選手の剣先、ここ一番での体を伴ったメンを中心とした打突が見られ、見る者を引き付け唸らせるものでした。残念ながら決勝戦では、前回準優勝の松崎賢士郎選手の優勝への執念と相手を引き出しその出頭を抑えるコテとメンにより敗れはしましたが、終始厳しい攻防が続くも互いに手元上がらず体制は微塵も崩れず、試合後の全剣連の役員の方からも「真っ向勝負のいい試合を見せてくれた」と賞賛のお言葉をいただきました。村上選手の活躍は素晴らしいものでした。



決勝戦開始早々 村上選手の鋭い面

### 本日一回戦 一番の好カード 第1試合場・第8試合での高優司／松崎賢士郎 戦



独特の緊張感のなかで初戦の出番を待つ高選手

また、高優司選手は一回戦で前回2位の優勝候補・松崎選手と対戦。開始早々厳しい中心の取り合いのあと一瞬について高選手がコテを先取り会場を沸かせました。その後も守りに入らず攻め続けるも、二本目にメンに引き出されドウを、三本目に松崎選手得意のメンを取られ敗れました。

試合後全剣連の先生方からも「いい試合だった」とのお言葉をいただきました。そして松崎選手はこのあと、全試合を勝ち抜いて初優勝を飾りました。

**日下達基選手**は、一回戦で北海道代表の野崎将秀選手と対戦し、動き良く果敢にメンを中心に攻めていきましたが、惜しくも野崎選手にメンを取られ一本負けで敗退しました。



日下選手／野崎（北海道）選手



控え席で着装中の日下選手

## 女子の代表選手



素川選手／小川（埼玉）選手

大学生の**素川佳子選手**が一回戦で三回戦まで進んだ埼玉県代表の小川真英選手に対し果敢に攻めていきましたが、メンとコテを取られ敗退しました。



**中原光紗選手**は実業団選手らしい試合運びで、一回戦で神奈川県代表杉本咲妃選手と対戦し延長戦でメンを取り勝利、二回戦で出場回数11回となるベテランの長野県代表の須坂喜江選手にメンを取られ敗退しました。



中原選手／須坂（長野）選手

**紺本 楓選手**は素川選手と同じく大学生ですが、一回戦で愛知県代表選手の平山まりん選手と対戦しメンを中心に果敢に攻めていました。

試合後半には審判の旗が1本あがる惜しいメンがありましたが、終了間際にメンを取られ敗退しました。



紺本選手／平山（愛知）選手



高校時代の恩師と紺本選手



今回代表選手のうち男子2名、女子1名を送り出したパナソニックの皆さん。このほかにコロナ対策の人数制限で残念ながら会場に入れなかった剣道部員のみんなも応援しました。



皆さんよく頑張りました

大阪府の男子・女子の代表選手それぞれが自分の持ち味を出し切り試合に取り組んだと思います。  
また大学生で出場された選手の皆様には、この大会で体験し得られた多くの事をこれからの剣道に活かして  
いただきたいと思います。  
感動をありがとう！選手の皆様お疲れ様でした。

(文責 大阪府剣道連盟・大会運営委員 大目美日古)

～がんばっている皆さんを  
応援しています！！～  
大阪府剣道連盟・賛助会



賛助会の援助でわたしたちのキャラが  
“缶バッジ”になりました！  
愛称を応募いただいた方に、もれなく  
プレゼントいたします！

\*\*\* 編集後記 \*\*\*

日本各地、桜が満開の様です。例年よりも数日早いと聞いています。  
3月14日長野県で開催された全日本剣道・全日本女子剣道選手権大会に  
出場された大阪府代表の選手の皆様方、大変お疲れ様でした。立派な試合内  
容だったとお聞きしております。

さて公募中の**かわら版の名称**ですが、現在以下のようなアイデアが集まっ  
ております。

ふれあい(大剣連会報)/正しい剣道(大剣連広報)/あゆみ(大剣連会報)/  
おおさか剣道かわら版「きずな(絆)」/かわら版(剣道の心) /  
おおさか剣道かわら版(CROSSING)

また**キャラクターの愛称**は以下になっております。

ペアの愛称 「なみはや剣士」  
女の子の愛称/男の子の愛称 「唱(しょう)ちゃん」/「和(かず)くん」  
「なみちゃん」/「はやくん」

**4月末まで**まだまだお時間がありますので、多数のご応募をお待ちしてお  
ります。

なお、お気づきになられた点、ご感想、ご意見等は以下のメールアドレス  
宛に、無記名ではなく、ご所属、フルネームでのお名前前の記載と共に投稿を  
お願いします。

[info-shinsa@osa-kendo.or.jp](mailto:info-shinsa@osa-kendo.or.jp)